

令和3年度行政評価 施策評価シート (令和2年度実績)  
 施策名 青少年の健全育成

施策コード 5020305

1. 施策の担当	
主管課	教育部 青少年課
関係課	学校教育課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 ひとを豊かに育むまちづくり (子育て・教育)	節 第3節 生涯学習・スポーツ
	施策	青少年の健全育成	
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の青少年健全育成団体の自主的活動を支援するとともに、地域と連携し、多様な青少年活動のリーダーとなる人材の育成に努めます。</li> <li>野外体験及び自然活動体験による青少年の健全育成に向けた取り組みを支援します。</li> </ul>			
現況と課題			
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の様々な青少年健全育成団体では、活発な自主的活動に加えて、地域を越えた交流事業を実施してきましたが、今後、少子化が進行していく中で、青少年を指導する人材の育成や、地域社会が一体となって青少年を支える環境づくりへの支援が求められています。</li> <li>稲倉青少年野外活動センターの利用促進に向けた取り組みが求められています。</li> </ul>			
施策目標			
対象 (誰を、何を、どこを)			
青少年及び青少年と関わりのあるすべての市民			
意図 (どのような状態にしたいのか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭では、親が子どもとコミュニケーションを図りながら学び合い、地域においては、大人が意識して子どもたちと関わるような状態をめざし、青少年が健やかに育つ環境づくりを進めます。</li> <li>「地域の子どもは地域で育てる」環境を作ります。</li> <li>市内の青少年健全育成団体の自主的活動の充実をめざします。</li> </ul>			

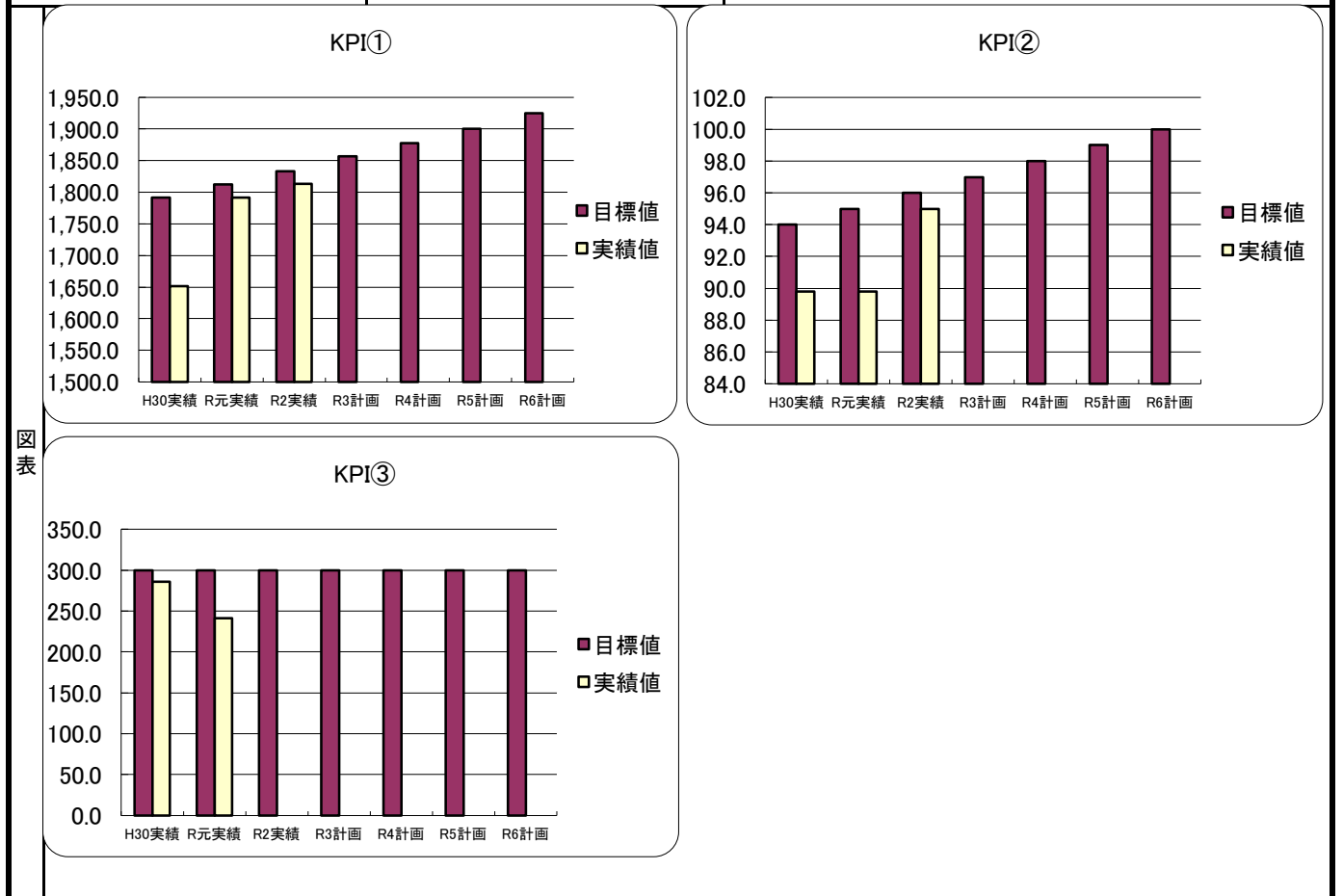
3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)	47.8						
重要度 (偏差値)	49.2						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R元決算	R2決算					
コストの内訳	人件費	千円	38,309	38,986				
	事業費		16,494	13,634				
	フルコスト		54,803	52,620				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		901	539				
	市債		0	0				
	その他		750	613				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		53,152	51,468				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		14,843	12,482				

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1 青少年健全育成関係団体の事業等参加者数							
項目	H30実績	R元実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画
目標値	1,792.0	1,812.0	1,833.0	1,857.0	1,878.0	1,900.0	1,925.0
実績値	1,652.0	1,792.0	1,813.0				
達成度	92.2	98.9	98.9				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
泉佐野市こども会育成連合会や青少年問題協議会等の青少年団体の参加人数により、青少年の活動状況を把握します。		H29 5年間で年間利用者が7%程度の増加を目標値として設定した。 R5 1,900人 R10 2,000人			コロナ感染防止のため多くの事業が中止しており、正確な数値は出せないが、感染がなければおおむね前年度と同様に推移していると考え。		

② KPI 2		稲倉青少年野外活動センター満足度					
項目	H30実績	R元実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画
目標値	94.0	95.0	96.0	97.0	98.0	99.0	100.0
実績値	89.8	89.8	95.0				
達成度	95.53	94.53	98.96				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
利用者の満足度を把握できます。5段階評価で満足度調査をしております。普通評価以上（大変満足、やや満足、普通）の合計を調査人数で割り、満足度を計算しています。		5年間で年間利用者が約1%程度の増加を目標値として設定した結果。利用環境の充実を目指し、100を目標値とした。		満足度はほぼ昨年並みである。内容別で見ると、利用時間、施設・サービス内容等については前年度よりもやや下がっているが、スタッフの対応の項目についてのみ、満足度が上がった。 ・施設H29度93.0%→H30度84.6%→R1年度84.3%R2年度→95% ・スタッフの対応H29度86.0%→H30度88.5%→R1年度88.8%R2年度→95%			

③ KPI 3		わくわくふれあいハイキング参加者数					
項目	H30実績	R元実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画
目標値	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0
実績値	286.0	241.0	-				
達成度	95.33	80.33	-				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
青少年指導員が実施しているイベントであり、青少年指導員の活動状況を把握できます。		少子化の進む中で、現状の数値の維持を目標値とした。		コロナ感染防止のため中止			



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>1</b>	青少年健全育成については依然として大きな役割を担っている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>2</b>	青少年の健全育成施策は社会的に依然として要望の強い施策である。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>2</b>	青少年健全育成施策は、社会的に大変重要な施策であり必要不可欠であるとともに、昨今の青少年を取り巻く状況を考えると今後重点事業である。
	合計点	(10点中) <b>5点</b>	
	総合評価	<b>C</b>	人的・経費的に厳しい中、創意工夫により初期の目標値を目指し、一定の効果が見いだされたと考える。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		<b>C</b>	引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		<b>C</b>	引き続き目標値の達成に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	R2年度決算額			R3年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01058800	青少年健全育成事業	18,013	2,144	2,144	0	B
2	01062000	成人式事業	7,643	689	689	0	B
3	01062100	青少年指導員事業	4,321	2,516	2,516	0	B
4	01062200	ジュニアリーダー育成事業	4,104	209	183	0	B
5	01062600	稲倉青少年野外活動センター運営事業	363	11	5	0	B
6	01080770	おおさか元気広場推進事業	1,960	1,161	622	0	B
7	01083390	稲倉青少年野外活動センター施設管理事業	2,582	6,904	6,323	0	B
合計			38,986	13,634	12,482	0	